

## 目標達成計画

作成日: 平成 30 年 2 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	毎年度計画的に消防訓練を行っているが、様々な災害を想定した訓練、また地域の方々と交えた合同訓練等が出来ていない。	火災・暴風雨・地震などを想定した総合避難訓練の実施、真庭消防署や消防関係者、地域の方々と緊密な連携を図る。	様々な災害を想定した訓練(避難誘導経路の確認を含む)の実施。真庭消防署の職員の方や消防関係の方々に機会あるごとに来所して頂き、消防に関する事柄を地域住民の方と共に学ぶ。	12ヶ月
2	8	当事業所周辺は商業店舗が多く、また住民の方々はアパート入居者世帯が大半であるなど、地域力が希薄な点がある。	地域の方々と当事業所との顔の見える良好な関係を構築する。	当事業所での行事イベント(納涼祭・慰問など)に来所して頂いたり、運営推進会議などへの参加をして頂く。	12ヶ月
3		家族・周りの関係者との活発な集いを持つこと、その人らしい介護計画を作成すること、それぞれが十分ではない。	特に、問題や入所者の希望が持つ上がった際には職員・家族・本人・周りの関係者との話し合いの場を持ち、直ぐに取り組めるようにする。	一人ひとりの残存能力を引き出し、何かあれば先延ばしにせず、連絡・報告・相談し、会議などを開催する。その人らしい介護計画を作成し、残存機能を引き出すように取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。